

2010年2月18日

## 2010年度「都市と環境(Ⅱ)」シラバス

トータルコーディネーター：花木啓祐

火曜7限(19:55-21:15)

### □ 講義の目的

持続可能な都市の形成のためには、安全かつ快適な都市環境および生活環境を将来世代にわたって創造していくことが必要になる。いまや多様な環境問題を把握した上で都市のプランニングを行うことがいまや必須となっている。本講義では、そのような環境問題の今日的な課題、計画技術・工学技術の修得を目的とする。全体を2部に分け、第2部では大気・熱環境と環境リスク・廃棄物を主として対象とする。

### □ 講義項目

#### 1. 都市と大気・熱環境

- (1) 大気・熱環境問題の特徴(亀卦川) 6月8日
- (2) 大気・熱環境問題のメカニズム(亀卦川) 6月15日
- (3) 大気・熱環境汚染の制御と対策技術(亀卦川) 6月22日

#### 2. 環境リスク・廃棄物マネジメント

- (1) リスク指標とその活用(福士) 6月29日
- (2) 日本の廃棄物行政について(森口) 7月6日
- (3) 廃棄物の処理及びリサイクル技術について(山本) 7月13日
- (4) 都市水環境と生態系影響評価(中島) 7月20日
- (5) 土壌・地下水の汚染と浄化(栗栖太) 7月27日

### □ 理解すべき事項

都市活動が大気環境に与える影響と大気中での汚染物質の挙動、また人工排熱と地表面の改変によって生じるヒートアイランドの形成と対策を理解する。土壌、水、大気を通じて都市活動が人間の健康に与えるリスクと生態系への影響およびその評価を学ぶ。さらに、循環型社会を目指した廃棄物の管理についてその基礎を学ぶ。

### □ 成績評価

教員から課された合計3編のレポートをもとに出席状況を加味して評価する。

- ①亀卦川が1題、②福士・森口・山本で1題、③中島・栗栖で1題